きりん組保護者様

きりんぐみだより

5歳児　きりん組　No.3

令和７年 12 月 24日
田島わくわくこども園
担 任　 倉 橋 ・ 姉 﨑

寒さがまた一段と厳しくなってきたこの頃。今月初めに雪が降って地面が白くなる様子を見て、「早く雪遊びしたい！」「外行きたい！」とたくさん積もることを楽しみにしていた子ども達でした。

さて、先日はお忙しい中発表会に来てくださり、ありがとうございました。先月から発表会に向けて日々取り組んできました。合奏は、楽器遊びで楽器に触れることから始め、自分の興味のある楽器に触れて、音やリズムを楽しむ姿が多く見られました。“ジングルベル”はみんなが知っている曲ですが、いざ弾いたり、リズムを叩いたりしてみると少し難しく、苦戦する様子も…しかし、友達が何度も練習して弾けるようになったところを見ると、「練習する！」と何度も取り組んでいました。最初はみんなの音がバラバラだったのですが、保育者が「みんなの音を一つに合わせるのが“合奏”なんだよ」と伝えると、段々一つになっていきました。ステージ練習でも、子ども達から「今の上手にできてたよね！」「楽しいね！」と言う声が聞かれ、嬉しく思いました。劇は、春から何度も読み聞かせをしていた『めっきらもっきらどおんどん』をみんなですることにしようと伝えると、絵本の台詞や歌がすらすら出てきた子ども達。最初、自分の台詞やタイミングを覚えるまでは、保育者の方を見ることが多かったのですが、友達同士で教え合ったり、練習したりするとスムーズに劇が進むようになりました。劇中に鬼ごっこ、アルプス一万尺、大縄跳び、組体操のドミノ倒しをいれたり、最後の歌の振付をみんなで考えたりして、今まできりん組で経験してきたことも披露できた劇になり、子ども達がとても楽しそうに役を演じている姿が伝わってきて、見ている方も楽しくなりました。

発表会当日は、たくさんのお客さんに少し緊張した様子もありましたが、最後まで笑顔で楽しみながら取り組んだきりん組さん。“みんなで心を一つにする”ことができ、また一回り成長した姿を感じられました。

年賀状を書きました！

社会見学で購入した年賀はがきを見せながら、「年賀状って知ってる？」と保育者が聞くと「う～ん」と考えていましたが、“あけましておめでとう”や干支を書いたお手紙だと伝えると、「あ～！」と思い出した様子の子ども達。「ポストに入れると郵便局の人がお正月に届けてくれるんだよ」と話すと郵便局の中を見たことを思い出して、「バイクで来るね！」「お正月なのにすごいね」と言っていました。さっそく赤白ペアの友達にあてて年賀状を書きました。保育者が“友達がもらって嬉しい年賀状にしよう”と話すと、来年の干支の馬を描いたあと、ペアの友達に「何が好き？」と聞いてその絵を描いたり、友達の好きな色で文字を書いたりと自分で“友達がもらって嬉しい”を考えて描いていました。

先日園の近くのポストに投函しに行きました。お正月に届くのをお楽しみに！

できるかな？

一つ一つの行事を経験していくごとにクラスみんなで力を合わせて取り組むことに達成感を感じたり、友達の良さや考えに気付いたりする姿も見られるようになってきました。小学校に行ったら時間がしっかり決められているので、昼食時には時間を決め、「“８”にみんなでごちそうさましようね」と声を掛けたり、時計の数字に矢印を付け、お片付けの時間に気付けるようにしたりして、時間を意識した行動を身につけられるようにしています。

そこで、就学に向けて、一日の生活リズム等の見直しができるように、個人懇談会の時にお伝えした『できるかなカード』を１月から始めたいと思います。カードには“〇時に寝る”“朝ごはんを食べる”等の欄があるので、毎日〇×の記入をお家の方としていただきたいと思います。お忙しいとは思いますがよろしくお願いします。

段々とできることを増やし、小学校に向けての気持ちを高められるといいなと思っています。

今年も残りわずかとなりました。長いお休みに入りますが、ご家族皆さんで良いお年をお迎えください。休み明け元気いっぱいの子ども達に会えることを楽しみにしています！